

先駆けを!

学校報

望洋

夢の実現におけて!

東海大学付属望洋高等学校
編集:メディアセンター
2015年7月30日 第115号

第12回 サマーコンサートを開催

吹奏楽部



6月21日(日)、松前記念講堂で、本校吹奏楽部 第12回 サマーコンサートを開催しました。当日は、今年度の全日本吹奏楽コンクールの課題曲である田坂直樹作曲「マーチ『プロヴァンスの風』」を皮切りに、全7作品を熱演。第2部では、市原市立国分寺台中学校・市原市立ちはら台南中学校の吹奏楽部による演奏も披露されました。また、第3部では、「ヒットステージ2015!」に続いて吹奏楽部卒業生と現役吹奏楽部員との共演を展開。本校卒業生でプロの打楽器奏者でもある塩谷亜弓さんと繰り広げた「ソロパーカッションと吹奏楽の為の協奏曲」(ケーリー・ジーク 作)が終わると、会場からは大きな拍手が寄せられました。アンコール曲は「宝島」

(真島俊夫 作)。コンサートは盛況のうちに閉じられました。当日お越しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。12月23日(水・祝)には第14回 定期演奏会を予定しています。多くの方々のご来場を、心よりお待ちしております。



サマーコンサートを終えて

吹奏楽部 creative leader 3年3組 桑原 和奏

望洋高校吹奏楽部 第12回 サマーコンサートに、沢山のお客様のご来場をいただきました。本当にありがとうございました。今年度の4月、私たち吹奏楽部には新しい風が吹きました。新しい顧問として湯川千鶴子先生を迎え、14人の1年生が入部してくれました。新しい風は私たちにとってつらい向かい風ではありません。「上昇気流」です。サマーコンサートの第1部で演奏した「マーチ『プロヴァンスの風』」と「ヘラクレスの塔」の2曲は、今夏の吹奏楽コンクールで演奏する曲です。今年こそ千葉県コンクールで金賞を取り、東関東吹奏楽コンクール、そして、全日本吹奏楽コンクールに進みたいと思います。そのために、部員52名全員が、本気で「上昇気流」に乗り、頑張っていきます。ご声援をよろしくお願いします。



サマーコンサートを終えて

percussion part 2年7組 齊藤 秀人

6月21日に行ったサマーコンサート。今年のコンサートでは、去年とは違う体験ができました。今年は2回目のコンサートということもあり、心に余裕が生まれました。自分一人のことで精一杯だった去年と比べて、周りのメンバーの様子を見ながら演奏することができるようになりました。また、1年生が加わって、新しいメンバーでの演奏になりましたが、各自が自分の役割をしっかり務め、大勢のお客様に楽しんでいただける演奏ができたと思います。指導して下さった先生方、忙しい中お手伝い下さったOB・OGの方々、吹奏楽部後援会の皆様に、心から感謝を申し上げます。来年はもっと良いコンサートが開けるよう、部員全員で頑張っていきたいと思います。

初めてのサマーコンサートに参加して

percussion part 1年2組 田村 美琴

1年生の初舞台となったサマーコンサートが終わりました。初めてのことばかりで至らない点も多くあり、先輩方に迷惑を掛けてしまう場面もありました。しかし、私たち自身が成長する良い経験ができました。中学生のころから憧れていた望洋高校吹奏楽部の一員として舞台に立つことができ、喜びを感じました。今回のサマーコンサートが無事終えられたのは、先生方や先輩方、そして保護者の方々の沢山の支えがあったからだと思います。普段お世話になっている方々への感謝の気持ちを忘れずに、仲間たちと共に、夏の吹奏楽コンクールや冬の定期演奏会に向けて、頑張っていきたいと思います。

ご来場ありがとうございました

吹奏楽部顧問 湯川 千鶴子

この度は第12回 サマーコンサートにご来場くださりまして、誠にありがとうございました。また、平素は吹奏楽部の活動にご理解とご支援を賜わり、重ねて御礼申し上げます。今年4月に前任者に替わり着任いたしました。今年度は14名の新入部員が加わり、現在52名の部員全員と共に活動を進めております。新入部員の中には、高校入学後に楽器を始めた生徒もいます。そのような部員たちも日々練習を重ね、先輩たちの良きアドバイスを得て練習を積み重ねています。2年生以上の部員たちも、これまで以上の表現力を涵み取ろうと練習に励んでいます。その前向きな姿は、顧問として誇りに思います。また、サマーコンサートでは市原市立国分寺台中学校と、ちはら台南中学校の吹奏楽部の皆さんの演奏を楽しむことができました。さらに、本校吹奏楽部のOB・OGとの共演も果たし、音楽好き仲間の輪が広がりました。今後は夏の吹奏楽コンクール、12月の定期演奏会等に向けて練習を重ねて参ります。今後とも皆様のご理解とご支援を賜わりたく、お願い申し上げます。

芸術鑑賞会（高校生のための歌舞伎鑑賞教室）を実施

1年生



6月19日(金)、1年生を対象にした芸術鑑賞会を実施しました。当日は国立劇場に集合し、6月歌舞伎鑑賞教室を鑑賞しました。ほとんどの生徒が歌舞伎を観るのは初めて。坂東亀寿による解説「歌舞伎のみかた」で歌舞伎の基礎知識を得た上で、「壺坂霊験記」(一幕 三場)を鑑賞しました。特に、今回の「歌舞伎のみかた」では、2名の本校生徒が登壇し、女形の衣装を着て歌舞伎の所作を学びました。その効果もあってか、「全然眠くならなかった。」「最後まで面白かった。」「歌舞伎を身近に感じることができた。」など、歌舞伎の世界に一步近づいたような発言を聞くことができました。



芸術鑑賞会に参加して

1年6組 橋島優奈

今回の芸術鑑賞会を通して、歌舞伎に関する多くのことを学ぶことができました。今回鑑賞した「壺坂霊験記」は、目が見えない夫のために、妻が毎日神社にお参り等を続けた結果、神様が夫の目を見えるようにしたという、現実では考えられないような世界を描いていました。このような話は、演じるにあたって想像力が必要だと思います。想像力を働かせることによって、演じている役の心情の変化を意識しながら演技をするので、役者の表情が豊かになり、観客の意識を舞台に向けることができるのだと思います。そのように演じている姿を見て、私はとても感動しました。私も将来、想像力を活かした演技のできる役者を目指したいと思いました。

『壺坂靈驗記』解説

『壺坂靈驗記』は文楽から歌舞伎へ移された演目です。作者は不詳。

大和国壺坂（現 奈良県高市郡）に、沢市・お里夫婦が住んでいました。沢市は盲の人で、毎朝4時ごろになると家を空けるお里を“浮気心があるのでは”と疑っていました。それをお里に尋ねると、お里は“あなたの目を治したいばかりに毎朝、壺坂寺の観音様に通っている”と答えます。沢市は疑っていた自身を恥じ、お里の誘いで観音様に詣でることになりました。（沢市住家の場）

壺坂寺に到着した沢市はお里に励まされ、3日間の断食をすることで視力回復を祈願しようと試みます。“家に帰って用を済ませて欲しい”と頼まれたお里は家へ戻りますが、一人残った沢市の心は次第に変わっていく…“自分が死ねばお里は楽になるのでは…”。沢市は崖から飛び降り、死んでしまいます。さて、お里が壺坂寺に戻ると夫の姿がない。崖の上から谷底を見ると夫の死骸が…。お里は夫の後を追って、谷底へ身を投げるのです。（壺坂寺観音堂の場）

2人が身を投げた谷底。そこに、まばゆい光に包まれた観世音菩薩が現れます。菩薩はお里の心に感心し、沢市・お里の命を延ばそうと告げて消えます。息を吹き返した2人。いつしか沢市の視力も戻っているのです。（壺坂寺谷底の場）

救急教室を実施



7月7日(月)、市原市八幡消防署の救急隊員を招き、保健委員会の生徒と各部活動のマネージャー及び本校新着人の教職員を対象にして、救急教室を実施しました。これは、学校生活の中で万が一の事故や災害が発生した場合に備えて、けが人や病人を医療機関に渡すまでの一次的な応急処置の技術を習得するために、毎年行うものです。当日は、心肺蘇生法、AEDの使用法、回復体位、搬送法、止血法などを実際に体験。救急現場で、人々の命と日々対峙する消防署員の指導のもと、すべての参加者が真剣な眼差しで取り組んでいました。

生徒指導部講話を実施

7月14日(火)、生徒指導部講話の一環として、2年生を対象に、NPO法人 ウィメンズウィングちばから関根由紀世氏を招き、「デートDV」に関する講話を行いました。親密な関係の中で起きる暴力は、決して大人の世界に限られた問題ではありません。若年層でも、相手との親密な関係が成り立つと、相手を様々な形でコントロールする、いわゆる「デートDV」が起こる場合があります。高校生が自分たちにも起こりうる問題として「デートDV」を捉え、「DVは犯罪である」、「そもそも暴力とは何か」などという問題について考えるのは、有意義なことです。本校では、親しい相手の人権を尊重し、互いに尊敬し合える関係を築き上げるために、今回の講話を実施しました。



文理選択説明会を実施



7月15日(水)、2年生を対象とした文理選択説明会を実施しました。当日は東海大学文学部アジア文明学科の内藤耕教授を招き、文系の学習と理系の学習、それぞれの学びについて詳しい説明を頂きました。本校の総合進学コースでは、3年生に進級すると文系クラスと理系クラスに分かれます。さらに、進路選択に際しては、分野ごとの学びを知る必要があります。2年生のこの時期に文系・理系それぞれの大枠を理解することで、進路選択に繋げていきます。また、説明の中では、東海大学の文理融合の精神の立場から、文系であっても理系的思考が求められること、そしてその逆もあることなど、一つの学問領域に偏らない学際的な思考の重要性についても触れられていました。



望洋リレーエッセイ(66) 常泉直樹 先生

このコーナーでは、今年度赴任された先生によるエッセイを掲載します。第3回は、常泉直樹先生です。



皆さんこんにちは。数学科の常泉です。初めて教師という職業に就き3か月が経ちました。この3か月間、自分の中に1つの目標を掲げてきました。それはON、OFFの切り替えをすることです。人が生活していく上では、やるときはやるというONと、その準備としてのOFFがあり、それらを的確に調整することが必要だと思っています。ON、OFFの切り替えという言葉を知ると、OFFのときは「何もしない」と思っている人も多くいると思いますが、OFFはONを作り出すための準備状態です。これから夏休みに入り、学習面、生活面、そして部活動に対して色々な準備ができる期間にもなります。生徒皆が、夏休みに準備したものを9月からの学校生活で存分に発揮できることを願っています。

部活動報告 大会等の結果

- 陸上競技部：平成27年度 関東高等学校陸上競技大会、高橋奏乃（女子5000m競歩、第11位）、森川幸輝（男子やり投げ、予選敗退）、川奈部真由・松本理夏子・濱井美南・秦野南美（女子4×100mリレー、予選敗退）
第68回 千葉県陸上競技選手権大会、秦野南美（女子400m、第1位）、宇津木心・松本理夏子・川奈部真由・秦野南美（女子4×100mリレー、第2位）、伯々部晃輔・平島春信・吉原大吾・塩見宏人（男子4×100mリレー、第3位）、松本理夏子（女子100m、第5位）、秦野南美（女子200m、第6位）、松本理夏子（女子200m、第7位）、宇津木心・秦野南美・濱井美南・木村心矩（女子4×400mリレー、第6位）
- 卓球部：平成27年度 千葉県高等学校総合体育大会卓球大会千葉県予選会、岩井俊貴（男子シングルス、ベスト32）
- 射撃部：平成27年度 千葉県高等学校総合体育大会ライフル射撃競技大会、元吉玲那（エアールライフル女子個人、第5位、全国大会出場決定）
- ソフトボール部：平成27年度 千葉県高等学校総合体育大会千葉県予選会、ベスト8

連絡板

緊急連絡は望洋通信システムをご利用ください

〈夏季休業中の過ごし方〉

生徒指導部

夏季休業中は開放的な気分になり、種々の問題が発生しやすい時期です。望洋生としての自覚をもって有意義に過ごせるよう、各人が綿密な計画のもと、健康で安全な夏休みを過ごし、規律ある生活を送りましょう。

1. 部活動について…各種大会、練習試合、合宿等に参加する場合は、常に本校生徒としての自覚をもって行動すること。
2. 交通安全…携帯端末使用や音楽を聴く等の“ながら運転”に注意し、自転車による事故を起こさないよう十分注意すること。
3. 健全な生活…携帯端末でのトラブルには十分注意し、頭髮の加工や染髪、深夜徘徊、不健全遊技場（パチンコ、競馬場など）への出入りは決してしないこと。
4. 3年生へ…3年生の自動車教習所への入所は卒業試験終了後となります。また、アルバイトは後期中間試験2の終了後に認めます。許可を得るためには、いずれも申請が必要です。

<今後の行事>

7月	
7月17日(金)	全校集会・大掃除・LHR 三者面談（～7/21）
7月22日(水)	基礎教育講座 補習期間（～7/25）
7月31日(金)	学園オリンピック夏季セミナー （嬬恋高原研修センター ～8/5）
8月	
8月3日(月)	第1回 体験入学
8月6日(木)	学園オリンピックスポーツ大会（～8/8）
8月19日(水)	BSSP〔食品〕（～8/21）
8月27日(木)	東海大学付属推薦候補者登校日

9月	
9月1日(火)	全校集会・LHR・大掃除
9月2日(水)	防災週間（～9/8） カウンセリング14
9月7日(月)	カウンセリング15
9月14日(月)	カウンセリング16
9月24日(木)	水曜日課
9月25日(金)	球技大会
9月27日(日)	付属高校生のためのオープンキャンパス(2年生)
9月28日(月)	振替休日(2年生)
9月30日(水)	前期成績通知 カウンセリング17

編集後記 学校報「望洋」115号をお届けします。今号は吹奏楽部のサマーコンサートと1年生の芸術鑑賞会を中心に編みました。夏休みに入ります。次号は9月に発行します。(寿)

